



Vol.177

病院ホームページは

<http://www.mhi.co.jp/kobe/hospital/>

かけはし

理念
すべては患者様と
地域社会のために

発行責任者 病院長 佐々木 順子



先生
おたずねします



〈回答者〉
泌尿器科部長
奥田 喜啓



「働き盛りの男性の排尿障害、下腹部不快」慢性前立腺炎とは

Q まず前立腺とはどういう臓器ですか？

A 前立腺は男性にだけある臓器です。したがって慢性前立腺炎は男性特有の疾患です。膀胱の下にあり、尿道を取り囲んでいます。大きさは栗の実くらいで形も栗によく似ています。50歳をすぎると大きくなって尿道を圧迫し尿が出にくくなったり（前立腺肥大症）、がんができて（前立腺がん）することもあります。前立腺は精液の一部を作っていますが、働きについてはまだわからないところが多くあります。

Q 慢性前立腺炎の症状について教えてください

A 慢性前立腺炎とは、下腹部にさまざまな不快感、鈍い痛みが現れる病気です。めずらしい病気ではありません。30-50歳代の男性によくみられ、日本でも60-100万人の患者さんがいると推定されます。症状についてはその他、排尿時や射精時に痛みや不快感が出る、精液に血が混じる、陰囊と肛門の間あたりに何となく不快感がある、尿が近い、出にくい、残尿感がある、などさまざまです。なお40℃近い発熱や震えを伴う場合は急性前立腺炎の可能性があり、早急な治療が必要となります。

Q 慢性前立腺炎の原因は？

A 細菌感染（ばい菌）のこともありますが、原因はさまざまです。骨盤内の血行障害（血のめぐりが悪くなり、前立腺がむくむ）、冷えやアレルギーなどさまざまな原因が考えられ、さらに精神的な要因も加わることもあります。いずれにせよ、体力の消耗時（ストレス、不眠、過度の飲酒）や長時間椅子に座っている人（長距離ドライバーなど）がかかりやすいといわれています。

Q 診断と治療は？

A 直腸診や尿検査で診断します。直腸診（図：肛門から指を入れて、前立腺の状態を調べる）を行うと、慢性前立腺炎の場合、前立腺の腫れや圧痛を認める場合が多くあります。また前立腺をマッサージした後の尿や、分泌液に白血球（膿）や細菌の有無を調べます。治療は抗菌薬が中心ですが、原因や症状によりさまざまです。痛みに対しては鎮痛薬、頻尿に対しては頻尿薬というふうに、いわゆる対症療法が中心になることもあります。



慢性前立腺炎は決してこわい病気ではありません。また前立腺がんなど悪性の病気に変化することはありません。しかし治りにくい病気であることも事実で、治療が長期にわたったり、再発したりするケースもしばしばみられます。

慢性前立腺炎の症状には疲労や飲酒、精神的なストレスが影響します。まずは生活習慣の改善が有効です。また深刻な病気ではないということを理解することも大切です。心にゆとりを持ち、からだに無理をさせないことが大切です。

問合せ 三菱神戸病院 外線078-671-7705

